広　報

わ か さ

No.108 2014. 4

S A K U R A

今年は若狭町が誕生してから10年目の節目の年です。
町の面積が広くなった分、
町内にはまだ知らない場所が残っているかもしれません。
桜を訪ねて、遊びに行ってみませんか？

1　2
3　4　5
6　7　8
9　10

Photo
青池清博（6,10）
清水明幸（8）
田辺信治（1,3,5）
濱野文彦（2,7,4）
四方由紀子（9）

さくらばなし

楊貴妃桜
関　福乗寺
町指定天然記念物

樹齢約 200 年。サトザクラの一種。「福井県下で最も気品のある桜」と評されています。見頃は 4 月上旬。山桜で有名な神子集落とは“桜で結ばれている”と、祭に区の役員が行き来するなど集落間の交流も行われています。

Photo: 四方由紀子

「“命”というのはすごいね。こんなヒョロヒョロっとした枝がこんな立派に育つんや」古い写真を見ながら、福乗寺住職の松宮清樹さんはしみじみ話します。

手にした写真に写っているのは、がっしりとした幹の満開の楊貴妃桜。白黒写真なのに見事なボリュームを見せる桜は、今にもこぼれそう。時とともにかつての太い幹は朽ち、代わりに小さな枝が成長し、上の写真の姿になりました。

「この桜はだいぶ有名になって、県外からもたくさんお客さんが来てくれるんやけど、桜をそっとしといてやりたい気持ちもあるんです。あんまり大勢の人に見られると、桜もストレスになるやろうさけ（笑）」

関集落では昔から、区民が力を合わせて桜を守っています。昭和の後半、急に桜の元気がなくなった時期には、京都の桜守（さくらもり）の指導のもと、区民あげての治療が行われたという歴史もあります。「みなさんの情熱はすごいですよ。みんなで雪吊りや草取り、肥料をやったりして、桜を守っとります。春になると案内の看板を出したり、観光に来たお客さんにお茶を出したりもします」。

おととしは、同じ境内に 3 本あったソメイヨシノが病気になり、楊貴妃桜にうつらないように切ってしまったそうです。「みんなで、どうする…？と散々悩み、やはり病気がうつったら大変だということで、断腸の思いで切りました。その分、楊貴妃桜が元気に育ってくれれば…」と、当時を振り返っていました。

「毎年、春が来て花をつけると、今年もよう咲いてくれたなぁと心から思います。その時が一番うれしい。小さかった桜がこんなに立派になった。もうじきまた（古い写真のような）立派な桜になるでしょう」。

これから先、世代が変わっても、この桜とともに、関集落の輪が引き継がれていくのだなと思いました。

（取材：NPO わかさ Reco.）

かつての楊貴妃桜と、
福乗寺住職 松宮清樹さん

さくらまち

1

神子の山桜（神子）
Photo：青池清博

5

桜のトンネル（河内）
Photo：下島芳和

6

慈眼寺（別庄）
Photo：田辺信治

9

墓地公園（山内）
Photo：Reco.

10

水月湖（海山）
Photo：田辺信治

熊川宿（熊川）
Photo：松見正幸

2

観音さん（成出）
Photo：田辺信治

3

瓜割名水公園（天徳寺）
Photo：四方由紀子

4

上中駅（井ノ口）
Photo：濱野文彦

7

三方石観世音（三方）
Photo：清水明幸

8

Map

ほかにもいっぱい！町内のさくらスポット

◇ 三方庁舎と上中町舎
◇ 各学校の前
◇ 安賀里の川沿い
◇ 佐久間キャンプ場
◇ 上野木集落センター
◇ あちこちのお宮さんの境内
◇ 各駅舎のまわり
etc...

写真をご提供くださった個人のみなさま、“フォトクラブわかさ”のみなさま、ありがとうございました。

Photo:Keiko Sugimoto

岬の寒稽古

2月7日、岬小学校で剣道寒稽古納会が行われ、地元の小中学生12人が参加しました。

厳しい寒さの中、裸足で床を踏み込む音は勇ましく、小さな剣士たちは、面を付けていない時からは想像が付かないような気迫とかけ声で練習試合に臨みました。

2チームに分かれての団体戦では、「打ってけ！」、「もう一本！」と、応援の声にも力が入っていました。

稽古の後は、同校の職員らが作った豚汁が振る舞われ、みんなで温まりました。

スマホやタブレットで「Junaio」アプリをダウンロードしてください。
アプリを開きQRコードをスキャン！
寒稽古の写真にかざすと・・
(5月号発行まで見ることができます)

手間暇かけて…

2月8日、朝から雪が降り続く中、熊川葛等生産加工施設で熊川葛の製造体験が行われ、かみなか農楽舎の研修生が参加しました。

この日は葛の寒晒(かんざら)し作業として、粉砕した葛根のでんぷんの洗い出しと、しぼりの工程が行われました。熊川の清流に繰り返し晒すことで、徐々に不純物が取り除かれ、純白な葛が出来上がります。

このように熊川葛は、寒い時期に手作業で手間暇かけてつくられており、研修生らは白い息を吐きながら、一心に作業に打ち込んでいました。

鯉であったまろ

2月8日、福井県里山里海湖研究所と若狭町が主催した「たたき網漁実演と里湖の恵み鍋の試食」が開催されました。

この日は、雪が湖面にも降り積もったため、残念ながらたたき網漁は見ることができませんでしたが、来場者は、200食用意された「鯉こく（鯉汁）」を味わったり、竹炭作りの実演や木の実を使った工作などを楽しんでいました。

鯉こくは、50cmもある大きな鯉の頭をふんだんに使って取ったという出汁と、プリプリした鯉の身が入っていて、越前市から来たという女性は「雪が多くてびっくりしましたが、鯉がこんなに美味しいなんて」と笑顔で話していました。

三世代でお餅！

2月9日、熊川公民館で、熊川小学校の児童による学習発表会と三世代交流餅つき大会が行われました。

学習発表会では、保護者や地区の人たちが見守る中、児童たちの演奏や熊川の郷土史にまつわる劇などが発表されました。

その後「かき餅づくり」が行われ、親・子・孫の三世代がにぎやかにテーブルを囲んで、餅を5個ずつワラで編んでいきました。

最後の餅つき大会では、子どもたちも順番に餅つきに挑戦すると、盛り上がりは最高潮に達し、公民館の中は、大勢の笑い声とあたたかい空気に包まれていました。

べんがら色の夜

2月16日、ホテル水月花で、若祭プレイベント「バレンタインコンサート」が開催されました。

9月14日開催予定の「若祭」のＰＲとして、会場一面に「べんがら和灯篭」が配置され、幻想的な空間にピアノの音色が響きました。

日常を忘れ、春が来たようなあたたかなひと時を過ごせました。ピアノの音色に合わせるように瞬く炎はまるで拍手をしているように見えました。(Y.M)

役立ててください

2月14日、若狭ライオンズクラブから若狭町社会福祉協議会に災害支援品が贈呈されました。この支援品は、昨年9月の台風18号の被害に対し、福井石川富山のライオンズクラブから若狭ライオンズクラブを通じて贈られたものです。

自らもボランティアに参加したライオンズクラブの田邉安雄会長から、災害時に地元リーダーであることが分かるようにと、「若狭町社協」の文字が入ったジャケットと災害用基金への支援金が、社会福祉協議会の塚本新一会長に手渡されました。

塚本会長は当時を振り返りながら「ボランティア組織をより充実させていきたい」とお礼を述べました。

Photo:Takako Akao

住民リポーター

気、剣、体

2月11日、町教育委員会、町剣道連盟主催の第9回少年剣道大会が三方体育館で開催され、町内の小学生74人が熱戦を繰り広げました。

一瞬の素早い動きで気剣体が一致した一本が入ると審判の旗が上がり、どよめきと拍手が沸き起こります。

優勝した向笠の奥村莉菜さんは「辛い練習を乗り越えて、試合に勝ったときはとても嬉しい」と話していました。

【試合結果（いずれも優勝のみ）】

男子団体：向笠剣道スポーツ少年団
女子団体：向笠剣道スポーツ少年団Ａ
個人3年以下男子：中尾幸大（気山スポ少）
4年男子：奥村龍也（向笠スポ少）
5・6年男子：西村健（向笠スポ少）
3年以下女子：河原奈那美（向笠スポ少）
4年女子：赤尾奈津（西部剣道教室）
5・6年女子：奥村莉菜（向笠スポ少）

コンサートで身近に

福井県警察音楽隊の演奏を楽しむ「ふるさと子どもコンサート」が、2月17日、パレア若狭で開催されました。

この催しは、小学生以下の子どもたちに本物の文化芸術に親しみ、関心を持つきっかけづくりになるようにと、福井県と若狭町が開いているもので、町内の小学1・2年生306人が演奏を楽しみました。

アニメの主題歌やポップスなどの演奏が始まると、児童たちは体を乗り出し、リズムをとって楽しそうに聴いていました。

演奏後は音楽隊との交流会として楽器の紹介もあり、初めて見る楽器に興味津々で覗き込んでいました。

登下校の練習です

2月19日、とばっ子保育園で交通安全教室が行われました。この教室は、4月から小学校へ入学する年長組の園児を対象に行われ、信号機ゲームや交通ルールのＤＶＤで、道路の安全な歩き方などを学びました。

その後、園内の廊下を道路に見立て、右側通行と横断歩道を渡る練習をしました。

園児たちは歩行者用信号を注意深く見る、車が来ていないか「右、左、右」と確認する、手をまっすぐ挙げて渡るなど、学んだことを一生懸命思い出しながら交通ルールを復習していました。

ふたつの受賞

2月20日、消防長官表彰の受賞報告が行われました。これは、敦賀美方消防組合三方消防団が、昨年9月の台風18号で数日にわたって行った防災活動に対する「防災功労者消防長官表彰」と、西浦地区で発生した心肺停止患者に対しＡＥＤを使用して心肺蘇生を実施したことや、地域社会のニーズに対応した常日頃の活動が評価された「消防団等地域活動表彰」を受賞したものです。

ひとつの消防団が一度にふたつ受賞することは珍しく、報告に訪れた大上忠雄団長と鳥居正美副団長は、災害時や日々の活動を振り返り、地域に根差した活動の重要さを町長と確認していました。

梅香るセミナー

2月16日、大阪市のシティプラザ大阪で「若狭町の田舎暮らし（移住）セミナー」が開催されました。

セミナーには、若狭町への移住に関心のある方々が訪れ、町の気候や交通、仕事などについて熱心に質問していました。

セミナーに参加した男性は、「仕事が決まれば、ぜひ若狭町に移住したい」と移住に前向きな話をしてくれました。

また、受付や会場のいたる所には、町の早春の風物詩である梅の花枝が飾られ、その甘い香りが若狭の春の雰囲気を漂わせていました。

地震が起きたら

3月4日、地震や津波の勉強会が、岬小学校と三方中学校岬分校で開かれました。

勉強会では町職員から、地震が起きたらまず自分の身を守り、先生の指示に従って安全な場所へ逃げること。家にいるときは、海抜表示板を参考に安全な場所へ逃げること。また、津波が発生した時の海面の高さは、波がある時などは想定より高くなる可能性があることなどを学びました。

その後、計測器を使って実際の海抜を測り、学校のグランドは5ｍ、駐車場は6.2ｍなどと確認し、見やすい場所に海抜表示板を貼り付ける作業を行いました。

次世代につなぐ

2月22日、神子のセンジキ、海士坂の送り火、有田の綱打ち神事を記録した上映会が、歴史文化館で行われました。この上映会は、伝統文化保存協会が、町内の各集落に残る行事を保存したり次世代につなぐために行っているもので、今回は、各集落の人や行政職員がビデオカメラで撮影したものをそれぞれ20分に編集して上映するというものでした。

上映の前に、県文化財保護審議会委員の金田久璋（ひさあき）さんが3つの行事について説明し、どの行事も非常に珍しく、今後も変わることなく伝えて行ってほしいと話し、会場に集まった50人の来場者は、それぞれの神事に感心しながら、映像に見入っていました。

上映後は、3つの集落の代表者が、行事の困難な点や伝承方法などについて話しました。

いつもありがとう

2月23日、瓜生小学校でボランティア感謝のつどいが行われ、日頃、登下校や学習でお世話になっている地域の方々に感謝の気持ちを伝えました。

つどいでは学習発表会も行われ、参加したボランティアの方は「児童たちの発表は、どれもポイントを押さえて上手にまとめてある」と、児童の発表に感心していました。

高学年の児童たちは、ふなっしーやくまもんなど流行のキャラクターを取り入れながら、一生懸命発表していました。（四方由紀子）

住民リポーター

チクチクパッチワーク

2月16日から3回にわたり、鳥羽公民館でパッチワーク講習会が開催されました。

集まった9人の参加者は、講師の藤谷和代さんの指導のもと、おでかけに使えるウエストポーチやショルダーバッグを完成させました。

3回とも、和気あいあいとした雰囲気でとても楽しい講座でした。作業しやすいよう先生が材料を用意してくださり、また分かりやすく教えてくださったので、初めてでもちゃんと作ることができました。（竹内洋子）

住民リポーター

やさしいきもち

2月23日、人権意識高揚大会がパレア若狭で行われました。この大会は、「やさしいきもち」になれるまちづくりを目指して住民の人権意識の高揚を目的に行われています。

大会では、人権メッセージ優秀作品の表彰が行われ、入賞者に賞状と記念品が送られました。

その後、講演会が行われ、講師の汐見稔幸氏（白梅学園大学学長・東京大学名誉教授）が「愛すべき未来へ～わたしたちは、今、何をすべきか！～」演題に、子どもたちの権利について、具体的な事例を挙げながら分りやすく講演しました。

アラカルト

1	2
3	4
5	

1. シカ肉を使った料理講習会　パレア若狭（2/22）
2. 農家のおもてなし研修会　中央公民館（2/25）
3. 大雨と洪水の歴史パネル展
   若狭三方縄文博物館（2/15 ～ 3/31）
4. 囲碁大会　西田公民館（2/24）
5. 春待ち陶の灯り展　熊川公民館（2/10 ～ 2/16）

住民リポーターさんの似顔絵：岡本サキン

田んぼや畑を数珠つなぎ ー田んぼや畑、自慢しますー

山本　謙 さん （兼田・26 歳）

「朝からの大雪で田んぼが真っ白に…。雪の下には麦が育っています。作物と一緒に春を待ちながらがんばっています。ただいま狩猟免許試験（罠）の合格発表待ち！」

なしたええんや ーわたしのオススメ、教えますー

小南　さおり さん （瓜生・27 歳）

「バンドでボーカルをしています。先日も、小浜のライブに出演してきました。とにかく歌うことが大好きです！そして、子どもも大好きです」

こちらのページでは若狭町にお住まいのみなさんをご紹介しています。掲載を希望の方は、お気軽にご連絡ください！
NPO わかさ Reco.　Tel ： 050-3701-8341　Fax ： 050-3730-7496　Facebook ページ：「わかさのススメ」

文　芸　ひ　ろ　ば

〈小原乙花俳句会〉

鶯やふつふつ豆の煮えたぎる　島津弥永子（小原）

あどけない子供の笑顔福寿草　南谷ゆみ（南）

〈若王子土筆句会〉

弥生月間近の雪の厳しかり　石田希代（若王子）

雪に雪降りて厨の豆を煮る　原田房枝（若王子）

〈かをり歌会〉

春告鳥来鳴くはいつか如月の　須磨悌（気山）

冷えの著きに春の待たるる

音立てて小川の中へ捨てし雪　今井きみ子（南前川）

浮きつ沈みつ流れゆきたり

〈上中短歌会〉

柊に添ひて実家（さと）より運ばれし　玉井和子（三宅）

石蕗十年葉は濃く太く

縄跳びの練習をする児は縁に　吉田恵美子（脇袋）

飛ぶ音数うコロッケ揚げつつ

〈川柳湖畔〉

苦手な人と山を動かす一升瓶　市野千恵子（三方）

原点に戻ると苦手なことばかり　吉村恵美子（上野）

〈ほっと川柳〉

迎え来る姿見つけて笑む園児　松見テル子（玉置）

人は皆姿変われど宇宙人　宮本貞子（末野）

〈若狭町冠句の会〉

七重八重足らぬ言葉を腰が足す　今井絹梅（伊良積）

今日の幸健康の二字噛み締める　福谷ますみ（三田）

HAPPY BIRTHDAY

Entrance ceremony

3歳でーす

このコーナーでは、4月に3歳を迎える町内にお住まいのお子さまに登場していただいています。なお、ご応募いただいた方のみ掲載しています。

今回は平成23年4月生まれの3歳になるお子さまです。

◀塚本　萌々（もも）ちゃん

4月4日生まれ（玉置）

親：幸良・裕美さん

じいちゃん、あーばん大好き♥
毎日元気いっぱいだよ♥♥

◀中村　歩未（あゆみ）ちゃん

4月14日生まれ（サンコーボラス瓜生）

親：晃三・孝子さん

歌うの大好き♪
妹にも子守りうた歌ってるよ♥

◀大塚　亮祐（りょうすけ）くん

4月24日生まれ（能登野）

親：祐司・昭子さん

戦隊ごっこ大好き♪
早く保育所行きたいなぁー★

次回は平成23年5月生まれのお子さまが対象です。写真と25字以内のコメント、生年月日、ご両親のお名前、連絡先を添えて総務課または上中サービス室へ提出してください（メールでの送付も可）。

4月4日（金）必着です。

●問い合わせ　総務課　TEL 45-9109
電子メール
soumu@town.fukui-wakasa.lg.jp
（受信確認のため、必ずお電話ください）

広報クイズ

しりとりうずまきクイズ

◀◀◀携帯でアクセス
メールでも応募してネ

■応募方法■

キーワードを解いて、しりとりをしながら右回りにことばを入れてください。

7つあるグリーンのマスの文字をアルファベット順に並びかえると、答えになります。ハガキに答えと広報紙の感想や意見、住所、氏名を書いて、「〒919-1393若狭町総務課」（住所は省略可）まで送ってください。電子メールでも受け付けます（soumu@town.fukui-wakasa.lg.jp）。正解者の中から抽選で5人に図書カードをプレゼントします。当選の発表は、賞品の発送をもってかえさせていただきます。

締切4月15日（火）必着。

◇キーワード◇

①4月から5%が8%に増加します。
②何と読む？「海豚」
（英語ではドルフィンと呼ばれます）
③兵庫県神戸市出身のプロサッカー選手現在はイングランドプレミアリーグのマンチェスター・ユナイテッドに所属しています。
④引力と遠心力を合わせた力のこと。月では地球と比べてこの力が1/6程度になるそうです。
⑤映画「七人の侍」、「隠し砦の三悪人」、「赤ひげ」などを手がけ、国民栄誉賞や米国のアカデミー名誉賞を受賞している映画監督と言えば。
⑥ジョギングよりも、やや早いスピードで走ることを何と言う？
⑦北極海と北大西洋の間にある世界最大の島の名前は？
⑧愛媛県松山市にあり、夏目漱石の小説「坊ちゃん」にも描かれている温泉。「○○○温泉」

【ヒント】
新入生にとって新たなスタートです。
夢に向かって一歩を踏み出そう！
《答え》○○○○○○○

①F					②
			G	⑥	
			⑧		③
⑤E			C	A	D
			⑦		
		B	④		

●前回の答え「オバマセン」①オーストラリア②アベノハルカス③スタップ④プリンセス⑤スバル⑥ルパンサンセイ⑦イシノウエ⑧エホウマキ

情報BOX

案内 どうしました？お話を聞かせてください

子ども・若者サポートセンターでは、子どもから若者とそのご家族の相談を受け付けています。

ひとりで悩まずに、お気軽にご相談ください。

●問い合わせ
若狭町子ども・若者サポートセンター
TEL 62-2886

■相談受付
平日　8時30分～17時00分（土日・祝祭日は除く）

■相談場所
若狭町役場上中庁舎2階

■対象者
0歳からおおむね40歳までの方

■その他
個人の秘密は固く守られます。訪問相談もできます。
まずは、お電話でお話を聞かせてください。

案内 三方五湖「春まつり」

若狭の観光シーズンの幕開けを告げる三方五湖春まつりが開催されます。

■開催日時
4月12日（土）～13日（日）
10時00分～15時00分

■開催場所
・レインボーライン第一駐車場

■イベント内容
若狭湾で獲れた魚介類の干物や地元特産品の販売のほか、しじみ汁やバルーンアートの無料配布などが行われます。

■その他
イベント期間中は、レインボーラインの通行料が半額になるほか、三方五湖ジェットクルーズと観光船レイククルーズが3割引で乗船できます。また、レインボーライン山頂公園へ入園された方（先着500人）にはご当地スイーツをプレゼントします。

●問い合わせ
三方五湖広域観光協議会事務局
（若狭町観光交流課内）　TEL 45-9111

案内 三十三間山に登ろう

毎年恒例の三十三間山の山開きが行われます。三十三間山は、滋賀県との県境に位置する標高842ｍの山で、南側の山頂付近には、芝生の広場とススキ・笹の大草原が広がっており、若狭湾や三方五湖、さらには琵琶湖を望むこともできます。

■開催日時
4月29日（月・昭和の日）9時00分～
（式典後に祈念登山を行います）

■集合場所
三十三間山登山口駐車場（若狭町倉見）

●問い合わせ
一般社団法人若狭三方五湖観光協会
TEL 45-0113

募集 平成 27 年歌会始のお題

宮内庁では、平成 27 年歌会始の詠進歌を募集しています。応募方法など詳しいことは、宮内庁ホームページでご確認ください。

■平成 27 年歌会始のお題
「本」
（お題は「本」ですが、「ぼん」、「ぽん」、「もと」などのように読んでもよく、「本」の文字が詠み込まれていれば差し支えありません）
■詠進要領
宮内庁ホームページにある詠進要領をご覧ください
■詠進の期間
9 月 30 日（消印有効）まで
■詠進歌の送付先
〒 100-8111　宮内庁（住所不要）
封筒に「詠進歌」と書き添えてください

●問い合わせ
宮内庁　TEL 03-3213-1111（代表）
ホームページ　宮内庁　歌会始　検索

募集 海外ボランティアはじめませんか

独立行政法人国際協力機構（ＪＩＣＡ）では、海外ボランティアを募集しています。あなたも、海外ボランティアの扉をたたいてみませんか。

■募集期間
4 月 1 日（火）～ 5 月 12 日（月）
■募集対象
①青年海外協力隊（20 ～ 39 歳対象）
②シニア海外ボランティア（40 ～ 69 歳対象）
■職種
農林水産、加工、保守作業、土木建築、保健衛生、教育文化、社会福祉、観光・商業、スポーツなど
■体験・説明会
4 月 5 日（土）と 4 月 10 日（木）に福井県国際交流会館で開催します。詳しくはＪＩＣＡ北陸まで。

●問い合わせ
ＪＩＣＡ北陸ボランティア担当　TEL 076-233-5931
ホームページ　ＪＩＣＡ北陸　検索

募集 労働基準監督官採用試験

平成 26 年度の労働基準監督官採用試験が行われます。申し込み方法などについては、ホームページなどでご確認ください。

■受験資格
1　昭和 59 年 4 月 2 日～
平成 5 年 4 月 1 日生まれの者
2　平成 5 年 4 月 2 日以降生まれで、
次に掲げる者
(1) 大学を卒業した者、および平成 27 年 3 月までに大学を卒業する見込みの者
(2) 人事院が (1) に掲げる者と同等の資格があると認める者
■採用職種
労働基準監督Ａ（法文系）
労働基準監督Ｂ（理工系）
■受付期間［インターネットでの申し込み］
4 月 1 日（火）～ 14 日（月）
■第一次試験日
6 月 8 日（日）

●問い合わせ
福井労働局総務課　TEL 0776-22-2655
ホームページ　福井労働局　検索

募集 河川愛護モニター募集

国土交通省では、地域の方々と連携を深めるために、北川および遠敷川の河川愛護モニターを募集しています。

■活動内容
河川の状況報告（月 1 回）など
■委嘱期間
7 月 1 日から 1 年間
■応募資格
20 歳以上で、北川および遠敷川からおおむね 5km 以内にお住まいの方。または、通勤や通学などで、これに準ずる環境にある方
■報酬
月額 4,580 円（予定）
■応募期間
5 月 20 日（火）まで

●申し込み・問い合わせ
福井河川国道事務所　河川占用調整課
TEL 0776-35-2661
ホームページ　福井河川国道事務所　検索

案内 「簡単です！」、「儲かります！」

進学や就職、退職などにより生活環境が変わる時期は、悪質商法の危険を身近に感じることが増えてきます。少しでも不安を感じたら最寄りの消費者相談窓口へご相談ください。

「簡単」、「儲かる」の言葉に騙されないで！

■マルチ商法

「誰でも簡単に高収入が稼げる」と言って勧誘し、販売組織に加入させて高額な商品などを購入させる手口

■サイドビジネス商法

「副収入になる」、「簡単な仕事で高収入」といった言葉で誘い、仕事をする前に必要だからと高額な教材などを購入させる手口

甘い言葉の裏には何かがあります。甘い宣伝文句を信用せず、簡単に高収入は得られないという冷静な判断力を持ちましょう。

●相談窓口・問い合わせ
嶺南消費生活センター　TEL 0770-52-7830
環境安全課　TEL 45-9126

案内 お客さんは乗らない、乗せません

代行運転を利用する場合、代行業者が、お客さんを随伴用自動車（代行業者の車）に乗せることは、法律で禁止されています。

たとえ、わずかな距離であっても同乗はできません。同乗を代行業者へ要求をせず、代行業者も要求を受けないようにしましょう。

※道路運送法第4条、同法第78条などの違反に該当し、違反者には、3年以下の懲役、もしくは300万円以下の罰金の対象となります。

●問い合わせ
中部運輸局福井運輸支局
TEL 0776-34-1602

募集 国家公務員採用試験

人事院では、平成26年度中に次の採用試験を行います。各試験の申し込みはインターネットを利用して申し込みください。

詳しくは、人事院中部事務局までお問い合わせください。

■総合職試験（院卒者・大卒程度試験）
インターネット受付期間　4月1日（火）～4月8日（火）
第一次試験日　4月27日（日）

■一般職試験（大卒程度試験）
インターネット受付期間　4月9日（水）～4月21日（月）
第一次試験日　6月15日（日）

■一般職試験（高卒者試験）
インターネット受付期間　6月23日（月）～7月2日（水）
第一次試験日　9月7日（日）

■その他
受験案内などは人事院中部事務局のホームページからダウンロードできます。

●問い合わせ
人事院中部事務局　TEL 052-961-6838
ホームページ　人事院中部事務局　検索

案内 県境を越えて出かけよう！

■福滋県境交流促進協議会の会員市町での4月中のイベント

期間 / イベント名	開催市町
①4月1日（火）～15日（火） 花換まつり	敦賀市
②4月5日（土） 観音の里「春まつり」	長浜市
③4月11日（金）～13日（日） 和久里壬生狂言	小浜市
④4月13日（日）～16日（水） 長浜曳山まつり	長浜市
⑤4月20日（日） 第34回ＯＢＡＭＡ若狭マラソン大会	小浜市
⑥4月25日（金）～5月中旬 総持寺の牡丹	長浜市
⑦4月26日（土）～27日（日） ござんせ！フェスティバル2014in きのこの森	おおい町
⑧4月29日（火） 蹴り奴振り	米原市
⑨4月下旬 上丹生チューリップまつり	米原市

※会員市町（滋賀県長浜市・米原市・高島市、福井県敦賀市・美浜町・若狭町・小浜市・おおい町・高浜町）

●問い合わせ
福滋県境交流促進協議会事務局
（敦賀市政策推進課内）TEL 0770-22-8111
ホームページ　福滋県境交流促進　検索

案内 蛍光灯と電球などの分別にご協力ください

使用済みの蛍光灯は、一般電球とは別に処理されています。

その理由として、蛍光灯には、微量の水銀が含まれており、ガラス材や金属、水銀などに選別して、リサイクルをしていることが挙げられます。

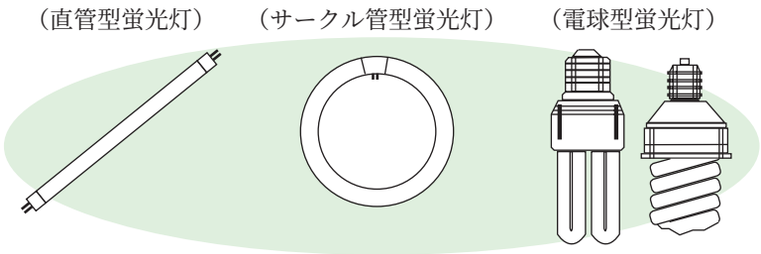
町内の蛍光灯専用の回収ボックスには、蛍光灯以外の電球が多く混ざり、リサイクルしにくい状況です。

蛍光灯や一般電球を出す場合には、分別にご協力いただきますようお願いします。

●問い合わせ
環境安全課　TEL 45-9126

■蛍光灯を出すときの注意事項

蛍光灯は、各地域に設置してある蛍光灯専用の回収ボックスに入れてください。蛍光灯は、一般電球と違って、ガラス材や金属、水銀などを選別してリサイクルされますので、回収ボックスには蛍光灯のみを入れてください。



■白熱電球やＬＥＤ灯など

白熱電球やグロー球、ＬＥＤ灯は回収ボックスには入れないでください。出される場合は、各地域の処理方法をご確認ください。

■事業所の皆様へ

各地域の蛍光灯専用回収ボックスは、家庭から出る使用済み蛍光灯を対象にしています。事業所から使用済み蛍光灯を出される場合は、本数を確認のうえ、地域の処理場へ直接持ち込んでください。

案内 町営バス「常神・三方線」のダイヤを一部改正します

町営バス常神・三方線は、利用者の利便性の向上を図るために４月からダイヤを一部改正します。

改正に伴い、平日の運行を増便するほか、利用者が限られている便を予約制にします。

より多くの方に親しまれるバスとして運行しますので、ご理解とご協力をよろしくお願いしたします。

●問い合わせ
政策推進課　TEL 45-9112
レインボー観光自動車㈱
TEL 45-0251

改正点①　次の２便を平日に増便します

バス停	出発時間		バス停	到着時間
常　神	9時10分	▶▶▶	レイクヒルズ	10時19分
レイクヒルズ	10時40分	▶▶▶	常　神	11時51分

※これまで日曜・祝日のみ運行をしていた便ですが、４月１日からは、日曜・祝日に加え、月曜、水曜、金曜も運行します。火曜、木曜、土曜は運休させていただきます（火曜、木曜、土曜が祝日の場合は運行します）。

改正点②　次の４便が予約制になります

バス停	出発時間		バス停	到着時間
小　川	7時28分	▶▶▶	常　神	7時52分
常　神	7時55分	▶▶▶	岬小学校	8時09分
常　神	11時55分	▶▶▶	小　川	12時19分
岬小学校	14時36分	▶▶▶	常　神	14時50分

※この４便に乗車を希望する場合、希望日の３日前までに電話予約が必要です。予約の際は、乗車するバス停名と運行時間をレインボー観光自動車へお伝えください。ただし、岬小学校・三方中学校岬分校が登下校に利用する予約は、学校が行います。

改正点③　次の１便が廃止になります

バス停	出発時間		バス停	到着時間
小　川	12時36分	▶▶▶	常　神	13時00分

案内 狂犬病予防注射日程

犬の飼い主は、年に１回、狂犬病予防注射を飼い犬に接種させることが、狂犬病予防法で義務付けられています。

■上中地域

日	会　場	時　間
4月17日（木）	上中庁舎	9:00 ～ 9:30
	瓜生集会所	9:45 ～ 10:15
	鯖街道伝承館（せせらぎ）	10:25 ～ 10:35
	新道生活改善センター	10:40 ～ 11:00
	熊川公民館	11:05 ～ 11:20
	仮屋ふれあい会館	11:30 ～ 11:45
	三宅消防小屋前	11:50 ～ 12:05
	天徳寺会館	13:10 ～ 13:25
	杉山集落センター	13:35 ～ 13:50
	堤集落センター	13:55 ～ 14:15
	野木公民館	14:25 ～ 14:40
	旧ＪＡ若狭上野木支店前	14:45 ～ 15:10
	日笠公民館	15:20 ～ 15:35
	神谷生活改善センター	15:45 ～ 16:00
4月18日（金）	有田集落センター	9:30 ～ 9:45
	長江集落センター	9:55 ～ 10:10
	大鳥羽会館	10:20 ～ 10:35
	麻生野たもの木会館	10:45 ～ 11:05
	海士坂集落センター	11:10 ～ 11:30
	無悪生活改善センター	11:45 ～ 12:00
	小原生活改善センター	13:15 ～ 13:30
	山内集落センター	13:40 ～ 13:55
	須恵野創作館	14:05 ～ 14:20
	安賀里集落センター	14:30 ～ 14:55
	脇袋公民館	15:05 ～ 15:25
	下吉田ふれあい会館	15:35 ～ 15:50

【上中地域予備日】
5月3日（土）9:00 ～ 11:00　上中庁舎

■三方地域

日	会　場	時　間
4月24日（木）	常神共同利用施設	9:30 ～ 9:50
	漁協神子支所	10:10 ～ 10:30
	小川漁港倉庫	10:50 ～ 11:10
	遊子作業場	11:30 ～ 11:50
	海山管理所	13:00 ～ 13:20
	食見駐車場	13:40 ～ 14:00
	漁協世久見支所	14:20 ～ 14:40
	西田公民館	15:00 ～ 15:40
4月25日（金）	中央公民館	9:30 ～ 10:40
	ほっとはうす（旧明倫保育所）	11:00 ～ 11:30
	三方Ｂ＆Ｇ海洋センター	13:00 ～ 14:15
	気山公民館	14:40 ～ 15:10

【三方地域予備日】
5月3日（土）13:00 ～ 15:00　中央公民館

■当日必要なもの
通知されたハガキに記載されている問診票を記入、印鑑を押して、注射手数料と一緒にご持参ください。

※今年から注射手数料が 3,000 円（昨年までは 2,850 円）に変更となりますのでご注意ください。

※新規登録の犬は、注射手数料の他に登録手数料として、さらに 3,000 円が必要です。

■重要なお知らせ

★安全確保のため、犬が暴れたり、逃げたりしないように飼い犬を保定できる方が会場まで連れてきてください。

★今回の日程に加え、動物病院などでも狂犬病予防注射、犬の登録および注射済票の交付を受けることができます。

●問い合わせ
環境安全課　TEL 45-9126

WAKASA-CHO10th aniversary event

WAKASA AJISAI MARATHON 10th

▼参加料

参加対象	参　加　料
一　　般	2,500円
高　校　生	2,000円
中学生以下	700円
親子ファミリー	1,500円

走れわかさ路
ひろがれ未来。

申し込み締め切り
4/25 FRIDAY

若狭町制施行10周年記念事業

第10回

わかさあじさいマラソン

日本陸連公認コース　ハーフ / 10km / 5km / 3km / 2km

6/8 SUNDAY
野木小学校グラウンド

大会要項（申込書）のご請求・お申込みに関するお問い合せ先
わかさあじさいマラソンエントリーセンター
〒675-1395　兵庫県小野市王子町800-1
小野商工会館1F（株）チョッパー内
tel.0794（70）8200

大会に関するお問い合せ先
わかさあじさいマラソン大会事務局
〒919-1333 福井県三方上中郡若狭町中央1-2
tel.0770（45）2222

大南 博美・敬美 姉妹と走ろう！

ゲストランナー
大南 博美・敬美
若狭町出身
1975年11月15日生まれ
2002ロッテルダムマラソン優勝(妹)
2003名古屋国際女子マラソン(妹)
2007ロッテルダムマラソン優勝(姉)
ユティック(坂井市)陸上部所属

待ってます！

【申し込み方法】
①参加申込書（郵便払込取扱票）に必要事項を記入し、最寄りの郵便局に参加料金を添えて申し込み
②右記のインターネットサイトから申し込み　ランネット 検索 or スポーツエントリー 検索

風　土　記
で　き　ま　し　た

若狭町が誕生したのと同時に、名前を変えた集落があるのをご存じですか。

「河内」集落から「梅ケ原」集落へ。

合併時、旧上中町にもうひとつの「河内」集落があったため、大字名として存在した旧上中町の河内を残し、大字の田井の中に存在した旧三方町の河内が名前を変えることになりました。

区民からアンケートを募り、集落の 30 ～ 50 歳の男女が議論を重ねて選んだのが、集落を囲む梅林の風景を表した「梅ケ原」。

そんな経緯を含め、愛着のある「河内」という名前と、その歴史を未来に遺そうと、昨年 12 月、梅ケ原の人たちが集落誌を作りあげました。

「河内風土記」

出来上がった冊子は、集落に存在したとされる龍泉寺の歴史が語られる平安の話や、明治以降の資料と、集落の人たちが伝えてきた習わしや行事、産業の変遷（へんせん）が丁寧に綴（つづ）られています。

また、各家の思い出の写真が一枚ずつ載せられるなど、河内を知る人にとっては懐かしさあふれる一冊となっています。

たくさんの写真と読みやすい文字で、誰もが気軽に手に取りたくなるあたたかいものとなりました。

冊子を見た河内ゆかりの人たちからも「懐かしい」などと反響が寄せられているそうです。

河内集落誌編纂委員長の原稔さんにお話を伺うと、集落の 20 人に、その人が得意な分野の話を 2 年かけて材料として出してもらい、その後、8 人の編纂委員が月に 1 回ずつ集まり、延べ 4 年をかけて全ての資料を整理してまとめてきたそう。原さんは「生活の変化を思い返す作業は楽しかったのですが、それぞれの人の記憶の裏付けをとるのは非常に難しかった」と、作成時の思い出を話して下さいました。

そして「歴史をまとめたからこそ、未来に思いを馳せました」とも。

歴史を振り返ること。それは過去を懐かしむだけでなく、次代へ渡すバトンの準備をすることでもあるのだと感じました。

（取材：NPO わかさ Reco.）

編纂委員長の原稔さん

暮らしのカレンダー 4月

April

日	月	火	水
		1	**2** もの忘れ相談 9:00～16:00 三方保健センター
6	**7**	**8** 心配ごと相談 9:00～12:00 泉 人権相談 9:00～12:00 歴史文化館 行政相談 9:00～12:00 三宅公民館 法律相談 13:00～16:00 泉	**9** もの忘れ相談 9:00～16:00 三方保健センター
13	**14** 体操 10 か月児育児教室 9:30～ 9:40 三方保健センター 12 か月児育児教室 9:30～ 9:40 三方保健センター	**15** 行政相談 9:00～12:00 泉	**16** もの忘れ相談 9:00～16:00 三方保健センター
20	**21** 体操 7 か月児育児教室 9:30～ 9:40 パレア	**22** あそびにきてね 9:30～11:30 岬保育所 こころの相談室(精神・社会復帰) 13:30～15:00 三方保健センター 心配ごと相談 9:00～12:00 パレア バランスボール教室 10:00～11:00 中央公民館	**23** 4 か月児健診・離乳食教室 13:00～13:15 パレア もの忘れ相談 9:00～16:00 三方保健センター
27	**28** 体操	**29** 昭和の日	**30** にこにこ広場 9:30～11:30 梅の里保育園 もの忘れ相談 9:00～16:00 三方保健センター

●問い合わせ

子育て支援
子育て支援室　TEL 62-2704
子育て支援センター
三方保健センター内　TEL45-1563
梅の里保育園内　TEL46-1030

高齢者・障害者福祉
福祉課　TEL62-2703

自主グループ活動

母子保健
健康課　TEL62-2721

健康診査・健康づくり
健康課　TEL62-2721

思春期・若者相談
子ども・若者サポートセンター　TEL62-2886

各種相談
社会福祉協議会　TEL62-9005

木	金	土
3	**4** 断酒	**5**
10 バランスボール教室 13:30～14:30 歴史文化館	**11** 体操 断酒 1歳6か月児健診 13:00～13:20 パレア	**12**
17 3歳児健診 13:00～13:30 三方保健センター	**18** 体操 断酒 にこにこ交流会 9:30～11:30 西田公民館	**19**
24 バランスボール教室 13:30～14:30 歴史文化館	**25** 体操 断酒 にこにこ交流会 9:30～11:30 西田公民館	**26**

断酒グループ（AA）活動日　断酒
◆ 毎週金曜日　19:00 ～ 20:00　パレア

健康体操教室　体操
◆ 毎週月曜日　13:30 ～ 15:00　上中庁舎
◆ 毎週金曜日　10:00 ～ 11:30　三方公民館
（※4日、7日は中止します）

赤ちゃん ～Happy Birth～

（2月届出）

おなまえ	性別	保護者	集落
山口蒼太（そうた）ちゃん	男	大輔さん	（上瀬）
種田藍琉（あいる）ちゃん	男	周介さん	（白屋）
渡辺楓介（ふうすけ）ちゃん	男	高章さん	（世久見）
松宮侑希（ゆの）ちゃん	女	豊さん	（井ノ口）
前田有陽（ゆうひ）ちゃん	女	裕紀さん	（館川）
馬地良磨（りょうま）ちゃん	男	良覚さん	（岩屋）
荒木哉多（かなた）ちゃん	男	健さん	（堤）
高田泰地（たいち）ちゃん	男	圭輔さん	（上瀬）
北山若奈（わかな）ちゃん	女	康司さん	（せせらぎ）

3歳で～す掲載者募集

広報わかさでは、発行号の月に3歳を迎える町内にお住まいの男の子・女の子に登場いただいています。お子さまの成長の記念にぜひご応募ください。

※応募方法は、本紙13ページをご覧ください。

ご結婚 ～Happy Wedding～

田中祐也さん　♥　市橋　彩さん　（日笠）
工藤大祐さん　♥　金森　梓さん　（気山）

人の動き ～population～

（3月1日現在）

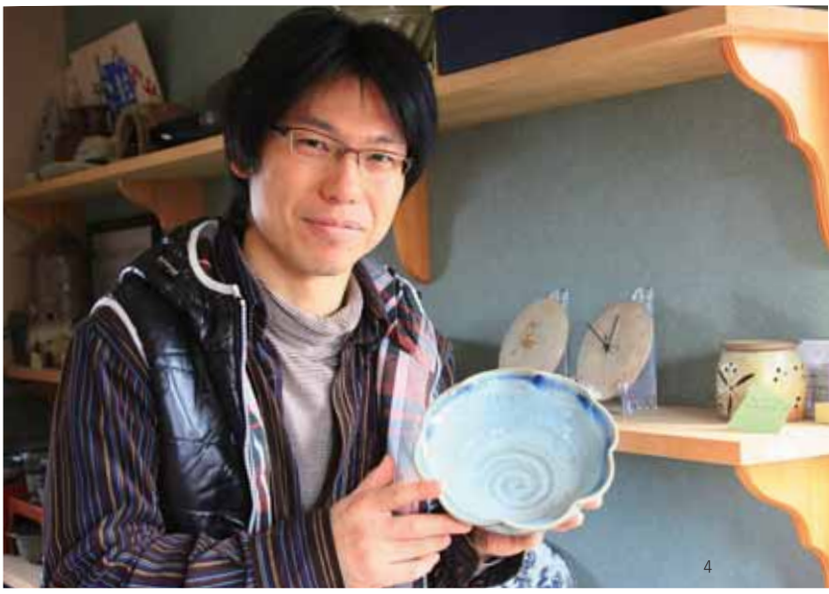
人　口　16,056 人（前月 +5）（前年 -119）
（男 7,733 人　女 8,323 人）
世帯数　5,057 世帯（前月 +1）（前年 +25）

■休日当番やイベント情報などをお知らせ

若狭町お知らせメール

①「touroku@town.fukui-wakasa.lg.jp」に空メールを送信してください。上記のQRコードを使って空メールも送信できます。あらかじめドメインの指定解除の設定をしてください。
【指定ドメイン：town.fukui-wakasa.lg.jp】
②しばらくすると「メールマガジン登録・解除」メールが届きますので、登録画面に従って入力してください。
③「お知らせメール登録完了のお知らせ」が届くと登録完了です。

1. 無数の器をつくりあげてきた清水さんの手
2･3.「鳳足石の記憶」
4. 鳥浜の「やわらぎ工房」にて



陶　芸　家
清水和也さん

石の記憶、人の思い

「鳳足石（ほうそくせき）の記憶」。太古と永遠を感じるタイトル。

この作品で、第45回日展（工芸美術）で見事入選を果たした、陶芸家の清水和也さんを訪ねると「作品の完成までには失敗や苦労もありましたが、ひとつ夢が叶いました」と、人懐っこい笑顔で迎えてくださいました。

小浜市宮川地区で採れる「鳳足石」という石からインスピレーションを受けて完成した作品。かつては、すずりの石として大変貴重だった鳳足石。

清水さんには、この石に再び光が当たるきっかけになれば、との思いがありました。「作品には、なぜこれを作りたいかという思いの強さが表れます。これからも宮川の方々の思いを大切につくっていきたい、それが僕の原動力のひとつです」と、言葉を強めます。

普段は鳥浜に工房を構え、越前焼の作家として、普段使いの食器などを中心に作陶に励んでおられます。「純粋にものづくりが好きで、休みの日も日曜大工みたいなことをしています。椅子も棚も、なんでも作りますよ」と笑います。

陶芸の道に進みたいと思ったきっかけは、静岡の大学で出会った恩師。「陶芸家の先生だったのですが、自分で器を作って売っているという人は、他の教授とはオーラが違うと思った。ろくろの技も本当にすごくて。なぜ土がこんな簡単に動いて行くのか！？と、感動したんです」清水さんの口調からは、本当に陶芸を愛していることが伝わってきます。「好きだったことを仕事にできた分、プロしての陶芸家の厳しさも多く感じています。でも、使ってみて良かった、と言っていただけると、とてもうれしい。お客さんに初めて“思ってた以上によかったよ”と言っていただいた事は忘れられません」

最後には、これからもお客さんに手を通して何か伝わる、“感動”していただける器をつくり続けたい、と熱い思いを話してくださいました。

（取材：NPOわかさReco.）

PickUp

Facebookページ「わかさのススメ」もチェック！インターネットの検索窓に「わかさのススメ」と入力ください☆

広報わかさ4月号 / 平成26年3月20日発行　　発行：若狭町　　編集：総務課・NPOわかさReco.
〒919-1393　福井県三方上中郡若狭町中央第1号1番地　TEL 0770-45-9109　　http://www.town.fukui-wakasa.lg.jp